

# 関東蒲生会28年度 かわら版

発行：平成28年8月6日

## 養蜂の難しさから学ぶこと

関東蒲生会会長 小倉 収

関東蒲生会会員の皆様、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私は長い間、趣味として烏骨鶏を飼育していましたが、昨年3月末日に定年を迎え、郷里の蒲生に帰省する事が増えるために烏骨鶏は、近くの福祉施設に貰ってもらいました。

私は以前から、養蜂にも興味を持っていたことから、丁度、烏骨鶏を飼育していた鳥小屋が空いていたので、その中に蜜蜂の巣箱を3箱(1箱は、女王蜂1匹に働き蜂約3000匹)を置きました。

蜜蜂も1箱が1万匹前後に増えていましたが、秋口に成って最も警戒し、心配していたオオスズメバチの襲来に直面してしまいました。ある日の夕方に巣箱を見回りに行ったところ、3箱の内の1箱は、ほとんど10数匹のオオスズメバチに噛み殺されて、ほとんど全滅状態で、蜜蜂の死骸が山積みになっていました。

2箱は残っていたのですが、オオスズメバチはその残った蜜蜂箱を襲うようになり、次の日から朝昼を問わず、出かけては、補虫網(タモ網)でオオスズメバチを捕獲して、足で踏みつぶしていました。

何か良い方法はないものかと観察していると、オオスズメバチは、1度地上に降りてから蜜蜂の巣箱の入口に進むことがわかったので、ネズミ取り(粘着性の強いシート)を巣箱の周りに置きました。すると、オオスズメバチがネズミ取りシートに多数匹かかりはじめました。

ネズミ取りシートには、他にトカゲや昆虫、ネズミなどがかかり次の朝に行くとそのトカゲや昆虫をモズが食べようとして、モズがかかり、助けて欲しいと、私の方をキョロキョロと見ていました。また次の日に行くとそのモズを猫が食べているなど、自然界の厳しさも知らされました。



残りの2箱もオオスズメバチに噛み殺されたり、蜜蜂が怖がり恐れて逃げ出したりして、最終的には、1匹もいなくなって、11月途中で3箱全てが空(カラ)になってしまい、わずか1年足らずで、養蜂の試みは失敗に終わりました。

天然のハチミツの美味しさを忘れられず、また、関東蒲生会の総会時の副賞にハチミツを提供できたらと思い、再度チャレンジしようと注文した蜜蜂1箱(女王蜂1匹と働き蜂約5000匹)が、先日(4月末日)届き、更に、田んぼに蒔いたレンゲソウの花も満開になり、美味しいハチミツが採集できるのではないかと、胸をトキませております。

また、多くのことにチャレンジして、経験や実践を積み重ねる事の大切さを身を以って痛感した昨今であります。

最後に成りましたが、関東蒲生会会員の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますと共に、皆様方 相互の絆を強固にして、会員相互の交流の更なる充実を図りたいと思っておりますので、皆様方のより一層のご協力並びにご支援をお願い申し上げます。

## 桜基金による植樹について

関東蒲生会 事務局長 北原 源平

『ふるさと蒲生を明るい桜の街に』を掛詞として平成18年の関東蒲生会総会より始めました桜基金も、早いもので10年目を迎えました。

その間、「ふるさと公園」をはじめ町内9箇所に関東蒲生会として130本ほどの桜の苗木を植樹しました。

平成19年11月17日 故郷を思う丘(仮称)で第一回植樹祭 36本、他三角公園に 5本

平成20年11月 2日「ふるさと公園」と命名され、第二回植樹祭(蒲生町制80周年企画) 15本

平成21年植樹 大楠アリーナ 13本、住吉池湖畔 8本、柳本公園 5本

平成23年11月19日 関東蒲生会50周年記念として第三回植樹祭 ふるさと公園 8本、観光交流センター 2本

平成28年 1月 枯れ木の一部植え替え 8本、その他全体の剪定作業



現在各所に96本ほどの桜の木が根付いており、大きいものは、5~6mに成長しております。

桜の開花時期に帰省された折には、是非ご覧頂きたいと思っております。

現地管理の久富木道夫氏と満田名誉会長

尚、始良市役所担当部署には、手順書による継続的なメンテナンス体制を確立して頂くことを了承頂いており、今後も連携して、成長を見守りつつ施肥や剪定作業と追加植樹を実施して行きますので、会員の皆様方には引き続きご理解とご協力を宜しくお願い致します。

- 1.第54回関東蒲生会総会・懇親会(75名参加)  
平成27年10月17日(土) 13:00～ 三州クラブ
- 2.第18回渋谷・鹿児島おはら祭り  
平成28年6月12日 おはら祭り 渋谷道玄坂・文化通り 踊りパレード 13:00～16:00  
合同懇親会 渋谷グリーンズライン(蒲生会20名参加) 16:30～
- 3.第一回総会準備(平成28年5月28日)  
総会開催のための企画、準備日程の確認、桜基金の継続、関東蒲生会会員名簿の発行ならびにこれらの費用にあてる関東蒲生会運営寄付金の募集、かわら版の発行などの決定を行う。
- 4.第二回総会準備会(平成28年8月6日) 総会案内の準備と総会・懇親会案内状の発送  
同封資料:案内状、かわら版、寄付金振込用紙、返信用ハガキなど約450通の案内発送作業。  
以降予定 第三回総会準備会 9月10日(土) 13:00～16:00 三州倶楽部
5. 関東蒲生会 28年度総会懇親会9月24日(土) 受付12:30～13:00 総会・懇親会13:00～16:30 三州倶楽部

## <関東蒲生会運営寄付金のお願い>

ご承知のように関東蒲生会は年一回の総会・懇親会で会員相互の親睦と町との交流を主な役割としてまいりました。引き続き今後の運営も総会での決議に基づき続けてまいり所存でございます。

一方、今回の総会・懇親会のご案内も含めた、通信費、印刷費、会議室使用料など1年間の維持運営を総会参加者の会費の中から捻出し、不足分は有志の寄付と幹事一同のボランティアで賄っているのが実情でございます。

引き続き、関東蒲生会の会員の方々から広く運営寄付金の募金を募っております。関東蒲生会の有志の方々に寄付を賜りますようお願い申し上げます。(振込用紙を同封してあります)

## 第19回渋谷・鹿児島おはら祭(2016.6.12)

関東蒲生会副会長 関東始良市おどり連長 久富木 文子

今年のおはら祭は、5月下旬のG7伊勢志摩サミット開催の関係で急遽6月12日に変更となり、関東始良市おどり連(始良、加治木、蒲生)から35名、故郷始良市から、笹山始良市長を含む4名が参加、総勢39名(給水係り含む)の「あいびゅー踊り連」として、道玄坂ユニクロ前から12:20登り坂のパレードスタートとなりました。

今年のおはら祭は、5人の踊り初参加を含む14人、なかなか手と足が合わないハンヤ節、東京オハラに踊り練習の苦労も味わいました。



「何で私が踊ることに、、、」と言いつつ、「給水係が足りないなら」とご夫妻での参加や、「あたいげんとも給水なら」と一家で参加や、踊りパレードに付きっ切りで応援のみどりこ、飛び入り参加で花を添えてくれたあいちゃん、大きな声援を頂いたふるさと会関係者のみな様に感謝!

今年も参加連数62、参加人数2400名を超える賑わいで、今や世界の交差点となった渋谷駅ハチ公、109前のスクランブル交差点を通行止めにして行われるビッグイベント。

踊りパレード後の打上げ懇親会にも約70名の参加を頂き、元ロスプリモスの上野旬也さんとみどりこちゃんの歌で大いに盛り上がりました。沢山の皆さま方のご協力、ご声援有難うございました。

来年の渋谷・鹿児島おはら祭りは2017年5月21日(日)に開催予定ですが、その前に天文館おはら祭りが今年の11月3日(木)文化の日に鹿児島で開催されます。

ようこそ蒲生会ドットコムへ



関東蒲生会のホームページをご覧ください。

全国の各地にお住まいの蒲生出身者、蒲生に縁の方々も自由に閲覧・投稿できます。このホームページには総会・懇親会時の写真や関東始良市ふるさと会も色々と投稿されております。

ホームページ

<http://www.kamoukai.com>

メールアドレス

[office@kamoukai.com](mailto:office@kamoukai.com)



# ふるさと蒲生について

関東蒲生会幹事 昭和43年蒲生中卒 柏木 光雄

ふるさと蒲生はいつまで経っても夢に出てきて生まれ育ち遊んだ場所、豊かな自然と先人から引き継がれてきた伝統の場所。この会は、蒲生に生まれ蒲生・漆・西浦中学校を卒業された人の会です。人それぞれ育った環境は違いますが、蒲生の事や中学卒業までの思い出や印象に残った事をペンの動くまま記載させて頂きます。

今回は、昭和34年～47年迄の印象に残っている出来事について書いてみます。34年小学校入学、小学校時代の思い出ですが、春の遠足が思い出されます。住吉池、新留小学校へと高学年なるにつれて、遠くへ行った思い出、夏になると、学校にプールがなく、後郷川に泳ぎに行ったことが印象に残っています。

秋になると小学校の大運動会、昔は娯楽があまりない為、家族全員学校に集り昼食が一番の楽しみでした。また、町民大運動会が中学校で実施され、漆・西浦・大山の皆様も参加され、6地区に分かれて盛大に行われたことが印象に残っています。



我々、幼児時代はテレビはなく、やっと、小学校の図書室に白黒のテレビが置かれたのも34年ごろでした。唯一娯楽としては、蒲生に2か所映画館があり、生徒全員で、映画を見に行くことでした。

また、町のイベントは、沢山あり7月になると、部落の楠田神社の六月灯、八幡神社の六月灯があり、思いを込めた提灯の個性ある絵を見るのが楽しみでした。

8月になると太鼓踊りがあり、太鼓やかねの音色が思い出されます。現在、蒲生町では下久徳・川東・北の3地区において太鼓踊り保存会が設けられ、その継承活動に努めておられます。9月になると十五夜の夜、各部落で、綱引き合戦がありました。

12月・2月になると、蒲生的一大イベント【かもうち】があり、屋台・出店・バナナのたたき売りがでて蒲生の街に大勢の人が集まりました。今も、12月23・24日 2月23・24日に実施されているそうです。

昭和43年に中学校を卒業し高校に進学、47年卒業し集団列車にて上京しました。現在、横浜に居住して早いもので45年目になります。

卒業後は、年2回帰郷していますが、実家と親戚の挨拶ぐらいで、蒲生の名所の本当に良いところを知りません。今後は、帰郷の際は、1日多く滞在して名所歩きをしたいと思っています。



1・掛橋坂 始良市名門坂大口筋白銀坂・龍門司坂(国史跡)に共通している坂です。この道は、数年前に発見されたそうです。江戸時代に整備された街道で、蒲生町北と西浦を結ぶ峠に見つかった石畳道であり、現在の県道川内・加治木線が明治時代に開通する前の旧道で、江戸時代には藺牟田・祁答院方面と蒲生を結ぶ地方街道として利用されていたそうです。

2・蒲生武家屋敷 西馬場に江戸時代に薩摩藩が作った麓とよばれる武家集落のひとつだそうです。御仮屋門を中心に9つの馬場(通り)と2つの小路からなり、数多くの武家門が残っている場所。

3・蒲生どんの墓 中世豪族の蒲生氏8代～13代までの当主一族の墓地で31基がまとめられています。慶応3年(1867)の洪水で埋没しましたが、昭和13年、有志により現在地に復元されました墓地です。蒲生支所の近くの蒲生御仮屋門・住吉池や漆の金山あと・西浦地区・大山の真黒岳があり、魅力ある蒲生の旅をすることが夢です。

## 関東蒲生会について

15歳中学校を卒業して、高校大学へ進学される方もいて、蒲生も先輩後輩と会う機会もあまりないのではないのでしょうか、私も上京して仕事と家庭の事で蒲生会の存在も知っていませんでした。

高校の関東支部の事務局を12年前より拝命して、三州倶楽部同総会を実施している中で、関東蒲生会の存在を知ることが出来ました。私も8年前より案内状が来るようになり、蒲生会に参加して今日を迎えています。

まずは、行ってみて中に溶け込むことが一番ではないかと参加しましたら、従兄弟の人や同地区の先輩に再会することが出来、今日に至っています。

現在関東蒲生会出生で住所確定者が450名の方に案内状を出しているところです。案内状を見た方にお願いがあります。

平成後卒業生は、個人情報保護によりなかなか住所がわかりません。親戚・同級生・友達・同地区の方でご存知の方は、事務局の方へ一報をお願いいたします。年代別では、定期的に同総会を実施されているそうです。ふるさと蒲生の方も皆様に会える日を楽しみしています。最後に故郷はいつまでも懐かしく、忘れがたいものです。



## 関東蒲生会川柳コーナー

関東蒲生会幹事  
松下憲三

- ・待ち受けの孫の写真を自慢げに
- ・年を越す患者と共に看護師も
- ・病床の心に届けハーモニー



蒲生の梵字



正月の八幡神社

今年の5月22日、23日の両日、蒲生中学校の喜寿記念同窓会がふるさと鹿児島島の霧島温泉と指宿温泉でありました。私たちは昭和15年遅生まれ、昭和16年早生まれです。

蒲生中学校を卒業して61年の歳月が過ぎ、不幸にも病等で無くなわれた方、所在が不明で連絡がつかなかった方が併せて76名いらっしゃいました。

今回の喜寿記念同窓会には北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から51名の出席がありました。



また、3年D組担当の柏木充先生も元気に参加していただきました。更に、出席者の中には中学校卒業以来はじめて逢った方もおりました。

皆、年月を経て丸坊主の紅顔だった少年、おかつぱの少女たちがそれぞれの年齢を重ねていきました。

我が関東蒲生会からは11名が参加しました。

初日の霧島温泉ではくじ引きで席を決め、中学校時代を思い出し懐かしい昔話や孫の話題や家族の話などの現状報告など交えて61年間の年輪を語りました。最後はカラオケを興じて「ふるさと」と蒲生中学校校歌を歌って初日は散会しました。

2日目は38名参加で指宿温泉の旅です。スケジュールは霧島温泉を貸し切りバスで出発して、横川、桜島SA、谷山を経て知覧特攻平和館に立ち寄りしました。

第二次大戦末期の沖縄戦で飛行機もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊員の遺骨・遺品・資料が収集保存、展示してありました。

この知覧特攻平和記念館の展示の中に蒲生町小川内出身の木原さんの親に宛てた手紙も展示してありました。この特攻平和館は戦争のむなしさ、平和の大切さ、ありがたさや命の尊さを訴えています。

知覧から明治蔵(焼酎工場)の見学、JR日本最南端の駅の西大山駅に立ち寄り、指宿温泉ホテルに到着しました。指宿温泉ホテルでは久しぶりに砂風呂に入り、別れの日是指宿フラワーパークに行き、その後、指宿駅から「指宿たまたま箱4号」に乗って鹿児島中央駅に到着して解散しました。

今、思いだしてみると、私たちが蒲生中学校を卒業した昭和31年はこんな年でした。

- 1月 石原慎太郎「太陽の季節」が芥川賞受賞、コルディナダンベツツオ冬季オリンピックで猪谷千春がスキー回転で日本人初のメダル獲得。
- 3月 蒲生中学校卒業式275名巣立つ、日本初の集団就職列車「ひばり号」鹿児島駅を出発。
- 5月 第一回世界柔道選手権大会 鹿児島県警吉松義彦選手 準優勝 日本登山隊マナスル初登頂 ビキニで初の水爆実験
- 8月 全国高校柔道選手権大会で鹿児島商業高校が優勝
- 9月 桜島南岳が大爆発
- 11月 メルボルンオリンピックで小野喬(体操)、佐川勝(水泳)、笹原正三(レスリング)、池田三男(レスリング)が金メダル獲得
- 12月 国連総会 日本国連加盟可決、石橋湛山内閣発足、ソ連から最後の集団引き上げ者1,025名が興安丸で京都の舞鶴港に入港

この年の流行歌は

「リンゴ村から」、「若いお巡りさん」、「どうせ拾った恋なもの」、「波止場だよお父さん」、「ここに幸有り」  
「愛ちゃんはお嫁に」、「別れの一本杉」、「早く帰ってコ」

この年の主な映画・TVは

「太陽の季節」、「狂った果実」、「真昼の暗黒」、「ビルマの豎琴」、「戦争と平和」、「ベニーグッドマン物語」  
「お笑い三人組」、「チロリン村とくるみの木」、「名犬リンチンチン」等でした。

また、次の機会に元気で再開できることを祈念して喜寿祈念同窓会は終わりました。